

上小国地区ビオトープ池の木橋補修

令和2年9月24日（金）に、外ヶ浜町上小国地区環境公共推進協議会がビオトープ池に架かる木橋の補修工事を行いました。

本地区では、平成20年から24年にかけて、ほ場整備事業を実施しており、これを契機として「上小国地区環境公共推進協議会」と農業組合法人「上小国ファーム」が設立されました。その後、上小国ファームは外ヶ浜町の農業の持続的発展と農村地域の活性化に大きく貢献し、地域経営のモデルとなっています。

また、上小国地区環境公共推進協議会では、環境公共への取組も積極的に行っており、現在は県の「ふるさと水と土保全対策事業」を活用して、水生生物の保全や、住民が自然環境と触れ合う場の提供を目的としてビオトープ池の整備活動に取り組んでいます。

本地区には、ビオトープ池が2つあり、それぞれに木橋が2橋の計4橋設置されています。



今回補修する橋



支柱を打ち込む状況



丸太を運ぶ状況



丸太を設置する状況

補修前の木橋は、風雨により老朽化が進んでいました。

そのため、今回は古い丸太を撤去し、新しい丸太を設置して安全に橋を渡れるようにするた

めの交換工事を行いました。

橋の両側に設置されていた古い手摺の支柱を外し、新しい支柱を木槌で打ち込む作業を行い、その後、橋を渡る箇所に円柱の丸太を敷き詰める作業を行いました。

綺麗に並べられた木橋は、補修前と比べて、かなり丈夫になり、安全に橋を渡れるようになりました。

本地区では、毎年子供たちを対象として生き物の観察会を行っているため、来年度以降は、子供が安全に自然観察を行えるようにビオトープ池の周りに転落防止柵を設置する予定となっています。

「環境公共」HP

<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>



地域づくりの新しいかたち

環境公共

環境に貢献する農林水産公共事業